

2 (四)

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題

指導事項：「C読むこと」の「考えの形成」

四 相田さんは、【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【資料3】
相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることで、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べると、栄養が足りなくなったり、体が弱くなったりすることがあります。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に3つのグループに分けることができます。

炭水化物は、主にエネルギーの源になります。肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。脂質がたっぷり入っている食品は、主に体を温かす働きがあります。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになります。塩分がかりに多く含まれています。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

主にエネルギーのもとになる
米、パン、パスタなど

主に体をつくるもとになる
肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるもとになる
野菜、果物など

【資料2】
運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、脂肪や筋肉などを作るほかに、骨格の成長を促す効果があります。また、運動によって気持ちやアツクさなどの効果もあります。

どんな運動をするか、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。走る運動の種類には、そのように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、縄跳びなどの脂肪を燃やす運動があります。そのほかにも、体幹を鍛える運動や、たくましくなる運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の散歩、足の散歩、階段の上り下り、掃除機かけなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくることが大切です。

主に持久力を高める運動の例
軽いジョギング 縄跳び(続けて2分)

主に脂肪を燃やす運動の例
縄跳び(続けて2分) 腹筋運動 筋立て

2 相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】、【資料2】、【資料3】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

【資料1】
運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで過度に運動をすることが大切だと書かれています。私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで脂肪を燃やす運動などです。生活の中にも自分が好きな運動を取り入れることが大切です。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

《自分の考えをつくる》

《分かったことを整理》

正答の導き方

- [1] 問題文と〈条件〉を読んで、問われていることを確認する。
- ①問題文から「運動と食事について分かったこと」をもとに、「これから自分ができそうなこと」をまとめて書くということを抑える。
 - ②〈条件〉ア 運動と食事の両方について分かったことを書く。
イ 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書く。
ウ 80字以上、100字以内にまとめて書く。
- [2] 「運動と食事について分かったこと」を3つの資料から読み取り、「これから自分にできそうなこと」について、資料の具体例を参考にして自分の考えをつくる。
- 【資料1】 → 健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切
 - 【資料2】 → 自分に合った運動を選んで行うことが大切(例:縄跳び、腹筋運動等)
 - 【資料3】 → 規則正しい食事をとることが大切(例:同じものや好きなものばかり食べない)

[3] 〈条件〉に合わせて書く。

【正答例】健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄跳びを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。 <99字>

必要な学習内容

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。【中学年】
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。【高学年】

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

誤答例とその原因

(誤答例1) 健康に過ごすためには、健康状態や体力に合わせて自分のペースで運動を行うことや、好きなものばかり食べずに規則正しく食事をとることが大切だということが分かりました。<80字>

◆ 運動と食事の両方について分かったことを書いているが、これから自分ができそうなことは書いていない。

(誤答例2) 運動には持久力を高める運動や筋力を高めるなどさまざまな運動があり、自分に合った運動をすることが大切だと分かりました。わたしは、筋力を高めたいので、これから毎日、腹筋運動やうで立てふせを続けたいです。<99字>

◆ 運動について分かったことと、これから自分ができそうなことを書いているが、食事について分かったことは書いていない。

授業改善のポイント

○ 資料を基に自分の考えを整理して報告する文章を書く場合は、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したり、文章を読んで理解したことを基に自分の考えが伝わるように書いたりすることが大切です。

3つの資料を基に、「健康に過ごすために大切なこと」と「これから自分にできそうなこと」を整理して報告する文章を書きましょう。



【資料3】	【資料2】	【資料1】	
<p>規則正しく食事をとることが大切</p>	<p>具体例</p> <p>筋力を高める運動の例 腹筋運動 立てふせ</p> <p>持久力を高める運動の例 軽いジョギング 縄跳び(縄がなくても)</p>	<p>生活の中に自分が好きな運動を取り入れるとよい</p> <p>運動は体力の向上につながる</p> <p>病気への抵抗力を高める</p> <p>気持ちがりフレッシュする。</p>	<p>分かったこと</p> <p>自分に合った<u>運動</u>が大切</p>
<p>好きなものを減らすことからはじめよう</p>	<p>縄跳びなら苦にならないから続けよう。</p>	<p>私には、持久力を高める運動はあまりしてない。</p>	<p>自分の考え</p>

資料の中心となる語や文を見付けて要約し、自分の考えを書こう。

中心となる語や文を要約して表の上に、自分の考えと結び付けたことを表の下に整理しましょう。

複数の資料を基に、自分の考えをつくる場面では、それぞれの資料の中心となる語や文を整理できるように、ワークシートやタブレットを活用します。また、理解したことを基に自分の考えをつくるのが大切です。

タブレットでみんなの表を見ると、3つの資料で読み取ったことがよく分かるし、友達によって「これから自分にできそうなこと」が違って、自分も取り入れてみようと思いました。

目的の「健康に過ごすために」に沿って報告するには、運動と食事のどちらか一方だけを伝えればよいのでしょうか。

いいえ。【資料3】の「規則正しく食事をとることにより、脳が活発に動いたり、元気に運動したりすることができます」とあるから、やっぱり両方がある方がいいと思います。

報告書を書く前に、もう一度目的を確認したり、どのような条件で書く必要があるかを話し合ってから書く活動に入りましょう。

それでは、目的と条件に沿って、報告書を書きましょう。